



申3号 2025年度冬期に関する申し入れ 団体交渉事項を検証

東日本ユニオンは2024年度の冬期課題解決に向け申3号「2025年度冬期検証に関する申し入れ」について労使で議論を行い、会社側より対策が実施され交渉により私たちが考える労働者が安心して働ける要求が実現いたしました。一方で解決に至らなかった昨年の課題も多く残っています。また会社側より2025年度冬期の取り組みメニューについて説明がありました。東日本ユニオンは引き続き要求が実現できなかった項目に対する検証及び、2025年度冬期の取り組みメニューの検証を行い働きやすい労働環境の実現を目指します。

申3号 申し入れ項目 要求実現！

上越線越後川口駅上り本線での持ち込み雪による起動不能対策を講じること。

⇒**起動不能対策として上越線越後川口駅上り本線融雪マット敷設**

E653系側引戸の雪介在による列車遅延防止のため氷結解除スプレーを搭載すること。

⇒**E653系凍結等側引き戸雪介在による遅延対策としてスプレーヤー配備**

改善に向け検証します！

- ホーム除雪について各駅最大両数除雪
- 長岡駅南部構内についてはMR除雪を本線同様優先的実施
- 車掌の誘導による起動確認について担当行路の休養時間確保の観点から負担を緩和
- 越後湯沢駅、浦佐駅、金塚駅、西新発田駅、柏崎駅、大白川駅、小出駅のポイント不転換対策 etc

2025年度冬期取り組みについて検証します！

- 倒木が予想される場合の運転規制見直し＆早期運転再開に向けた支障木伐採
- 早期運転再開に向けた車両前面除雪対応
- 長岡駅ホーム留置の追加設定について
- 大沢駅構内消雪設備の整備 etc

東日本ユニオンは2025年度

冬期の取り組みを検証していきます！